

施工管理技士の仕事

【村上工業の建設事業】

建設業とは、発注者より建築工事や土木工事を受注し、それを図面どおりに決められた工期内で完成させていく受注生産の事業です。

発注者より直接工事を受注する会社を「元請業者」といいます。

村上工業は、100%元請の会社です。

先に述べたように建設工事は決められた工期内に工事を完成させなければなりません。また、様々な専門工事(下請業者)から成り立っています。それを元請業社が総合的にとりまとめて工事を進め完成させていきます。

当社には、協力会社で組成する「乙吉会」という組織があり、あらゆる工種の専門工事業者が属しています。その専門工事業者の協力を受けながら工事を施工していきます。

【施工管理技士(技術者)】

施工管理技士は、発注者との打合せ、施工管理、専門業者の手配などが主な仕事になります。また、現場を取りまとめる役目でもあり、いわゆる「現場監督」です。現場を総合的に判断し、現場の進捗に影響が出ないように管理していきます。

施工管理技士になるためには「施工管理技士資格」を取得しなければなりません。

資格を取得して、初めて「施工管理技士」になれるのです。

当社では入社後、資格取得に向けてのサポート体制を整えており、1回で合格出来るよう先輩社員がわかりやすく教えていきます。

【施工管理】

施工管理技士の仕事で特に重要なのが「**施工管理**」です。工事を色々な面から管理していき工事を完成させていきます。

① 工程管理

工程管理は、定められた工期までに工事が完成するようスケジュールの管理を行います。材料の搬入時期や作業の順序、雨天等で作業ができなかった場合のスケジュール変更や調整など、工期までに工事を完成させる手立てを行うことが工程管理です。

当社に於いては状況に応じて工程を見直しており、工期に完成しなかったことは一度もありません。

② 品質管理

品質管理の目的は、発注者が要求している物を確実に作り提供する！

これに尽きます。

そのために、設計図の把握、専門業者との打合せ、段階ごとの確認などを徹底して行い、規格や基準に合った物をつくりあげます。

見栄え、強度、耐震性など全てにおいて発注者の要求のとおりにより工事を完成させるために行うのが品質管理です。

当社に於いては、完成後、発注者より大変満足していただいております、高い評価をいただいております。

③ 原価管理

発注者から工事を受注するために入札を行います。競争入札ですから、基本的に入札価格の一番安い業者が落札し、発注者と請負契約を締結します。

落札価格が受注金額となる訳ですが、受注金額を全部工事費に使うことはできません。なぜなら、企業は利益を上げないと成り立ちません。受注金額から更に精査して、工事がいくらで完成させることができるか実行予算を立てます。

受注金額と実行予算との差が工事利益となります。

原価管理は、その実行予算の範囲内で工事が完成できるよう工事原価の管理を行います。それが原価管理です。

当社に於いては、細かな原価管理を行っており赤字工事は一切ありません。

④ 安全管理

建設工事に於いて、着工から完成まで無事故無災害で完成させることが大前提です。工事現場ですので、重機や大型ダンプ等が稼働し、材料の荷下ろしや仮設足場での作業など危険を伴います。

現場に携わる作業員が安心安全に作業ができるよう、危険箇所を把握し作業員に伝達を行うと共に、安全教育を実施し、安全対策を徹底し事故の発生を未然に防ぐことが安全管理です。

当社では現場担当の巡視は勿論、本社に安全管理者を設置し、毎月現場の安全パトロールを実施しています。また、安全衛生委員会も毎月開催し、安全管理、衛生管理を徹底して行っており、常に事故防止に努めています。

※ 施工管理は現場を担当する施工管理技士一人が行うことではありません。同僚や本社、専門工事業者が一体となって初めて完全な施工管理が出来るのです。当社はその管理体制が整っていますので、いい仕事ができる要因の一つになっています。品質の良い物づくり、安心安全な作業環境をこれからも継続して地域の発展に貢献していきます。